

3号機 原子炉建屋地下2階における水漏れについて

平成17年3月28日

平成17年3月28日午後2時55分頃、定期点検中の3号機原子炉建屋地下2階(放射線管理区域内)において、作業員が点検中の原子炉隔離冷却系()ポンプ室において、床面に水溜まりがあることを発見しました。(漏えい量;約90リットル)

現在、水溜まりの拡大はなく漏えいは止まっております。

漏れた水に含まれる放射エネルギーは約9,000ベクレルであり、国への報告基準(370万ベクレル)の約400分の1でした。

今後、漏えいした原因調査を行ってまいります。

なお、これによる作業員への被ばく及び外部への放射能の影響はありません。

通常の原子炉への給水システムが使用不能な場合に、原子炉へ給水を行い、原子炉水位を維持し炉心の冷却を確保するシステム。原子炉隔離冷却系ポンプは主蒸気の一部を使って専用のタービンにより駆動する。

以上